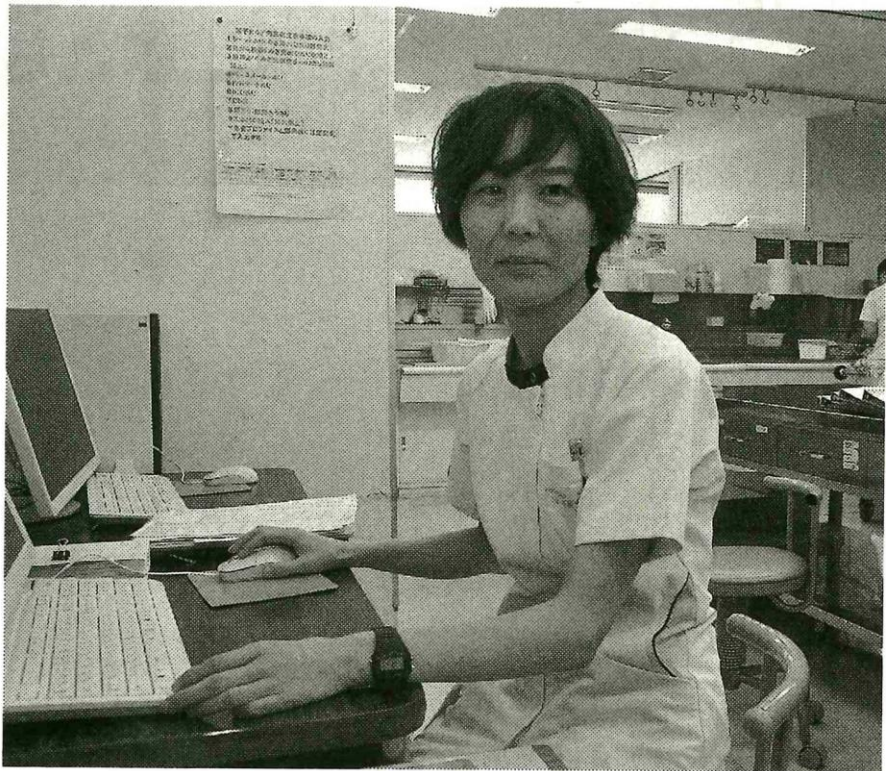


認知症患者の不安を緩和

製鉄記念室蘭病院・土田さん

認定看護師の資格取得

認知症看護認定看護師を取得した土田さん。「不安を感じる患者さんや家族の支援に取り組みたい」と話す



室蘭・製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の看護師、土田千嘉子さん(37)が、日本看護協会の認定看護師「認知症看護認定看護師」の資格を取得した。同病院の認定看護師は6分野の計7人になった。より質の高い看護が提供できる態勢の充実が進んでいる。

計21分野ある認定看護師のうち、「認知症看護認定看護師」は、認知症の各期に応じた療養環境の調整やケア態勢の構築、行動心理症状の緩和・予防を進める役割を担っているという。土田さんは今年5月に取得した。8年前から、内科・循環器内科病棟に勤務する

土田さん。認知症や認知機能が低下した状態にある急性期患者が増え続ける中、「入院しても穏やかに過ごしてもらえよう、スタッフの関わりも含めた環境支援が必要では」と考えるようになったという。

同病院では今後、適切なケア提供で身体疾患の治療を円滑に受けられるように支援する「認知症ケアチーム」の活動開始も予定。土田さんを中心に、医師や看護師、医療ソーシャルワーカー、リハビリスタッフ、栄養士などの多職種による院内での認知症ケアの態勢を築く考えだ。

土田さんは現在、所属

する病棟の患者への支援や、他病棟からの相談対応などを行っている。「入院前や退院後の自宅での生活に不安を感じている患者さん、家族の支援に取り組みたい」と抱負を話す。

特定分野の熟練した看護技術と知識を磨いた認定看護師は、同病院では6分野(緩和ケア、がん化学療法、感染管理、集中ケア、皮膚・排泄ケア、認知症看護)の計7人。認知症看護は同病院では初。塚田秀子看護部長は「高齢の患者さんが、少しでも普段の生活に近い入院生活を送れるような対応を進めたい」と話している。(松岡秀宜)